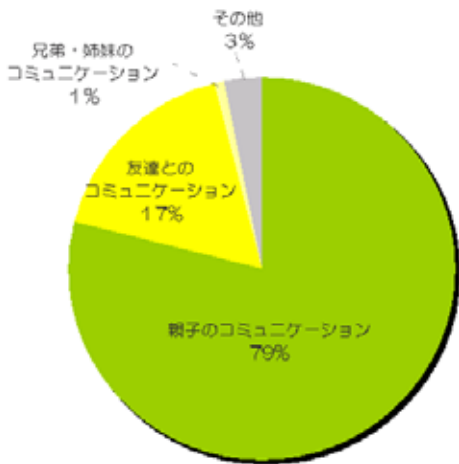


**(参考資料)「親子のコミュニケーションと住まい」アンケート調査(2007年2月20日～2007年4月19日実施)**

**【グラフ1】子どもの成長を考える上で大切なコミュニケーション**

(N=556)

設問:子どもの成長を考える上で大切なことは、次のうちどれだと思いますか？



その理由

**「親子のコミュニケーション」と回答した方の理由**

- ・親子夫婦の関係がいい家庭の子供は精神状態が安定していて間違いがない、といわれるから。(34歳/長女7歳・長男6歳)
- ・日々、精神的に安心して過ごすことが成長過程では何よりも大切なポイントだと思う。(46歳/長男20歳・次男19歳)

**「友達とのコミュニケーション」と回答した方の理由**

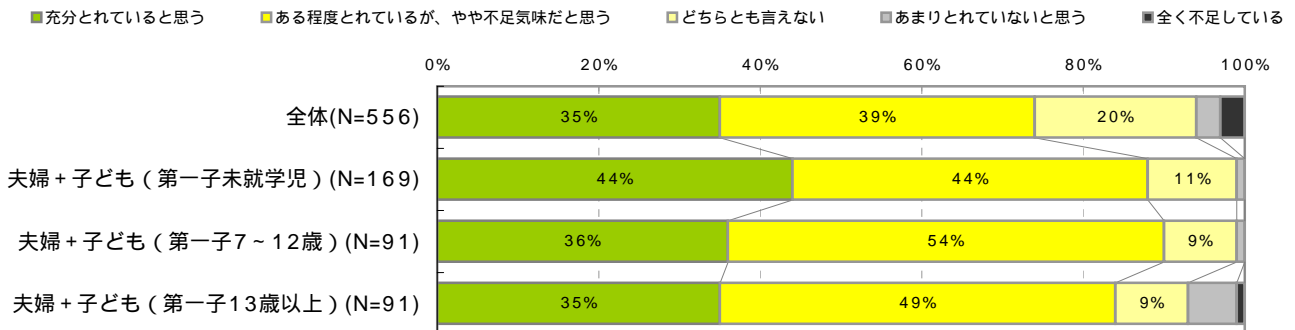
- ・主人が転勤族で、何回か幼稚園も変わっていますが、その度に子供の様子も大きく変わります。親よりも友達の影響の方が強いんだな、と感じます。(32歳/長女7歳・長男6歳・次女1歳)
- ・よい友達関係を築くことは大人になって社会に出てからもすぐ役にたつと思います。(38歳/長男8歳・次男5歳)

**「兄弟・姉妹のコミュニケーション」と回答した方の理由**

- ・人生で一番長く付き合う人だから(38歳/長女4歳・長男1歳)

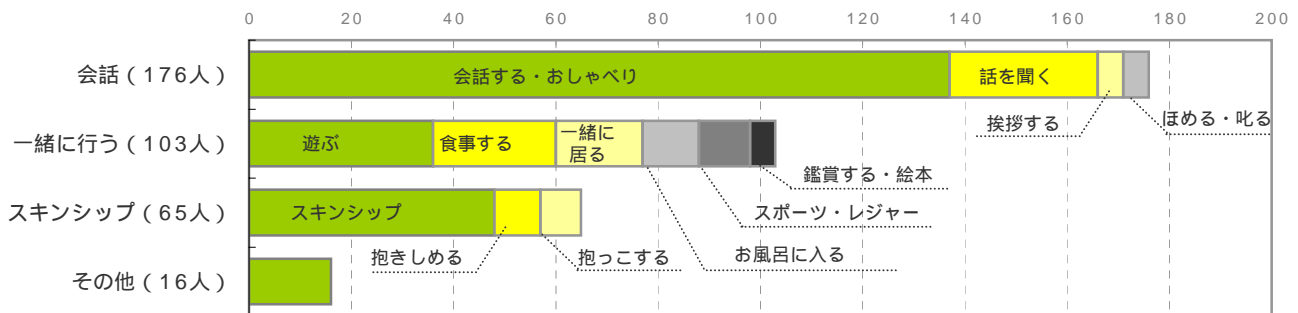
**【グラフ2】親子のコミュニケーションの満足度**

設問:親子のコミュニケーションは、充分にとれていると思いますか？



**【自由回答】実際に行っている親子のコミュニケーション**

設問:またどのようなコミュニケーションをとっていますか？

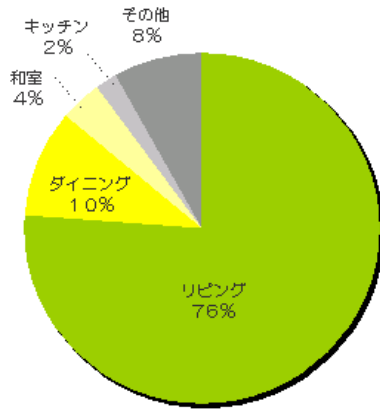


**【自由回答】親子のコミュニケーションをとる上の工夫**

- タイプ 空間的なつながり**  
・リビングダイニングは20畳全て吹き抜けにし、二階の子ども部屋とも互いの空気が感じられる設計にした。
- タイプ 集まりやすいリビング**  
・リビングはなるべく広く子どもも遊べる空間を作っています。
- タイプ 必ずリビングを通る動線**  
・玄関からすぐにリビングがあり、リビングを通らなければ二階の自分たちの部屋に行けなくなっている。
- タイプ インテリアの工夫**  
・リビングでは家具を低くして、みんなでゴロゴロ、机もおもちゃもリビングに置く。
- タイプ 家事しながら子どもが見える工夫**  
・キッチンに立っていても、洗濯を干していても、常に子どもの顔が見える。
- タイプ 個室にこもらせない工夫**  
・子ども部屋を作らずに、学習机はリビングから見える和室に置いている。
- タイプ 食事中にテレビを見ない仕掛け**  
・テレビに向けてダイニングチェアを置かない、食事の時は見えないところで食べたい。

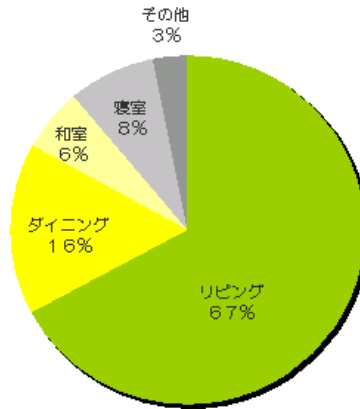
### 【グラフ3】親子のコミュニケーションを多くとる部屋

設問：現在のお住まいで子どもとのコミュニケーションを最も多くとる部屋は次のうちどこですか？



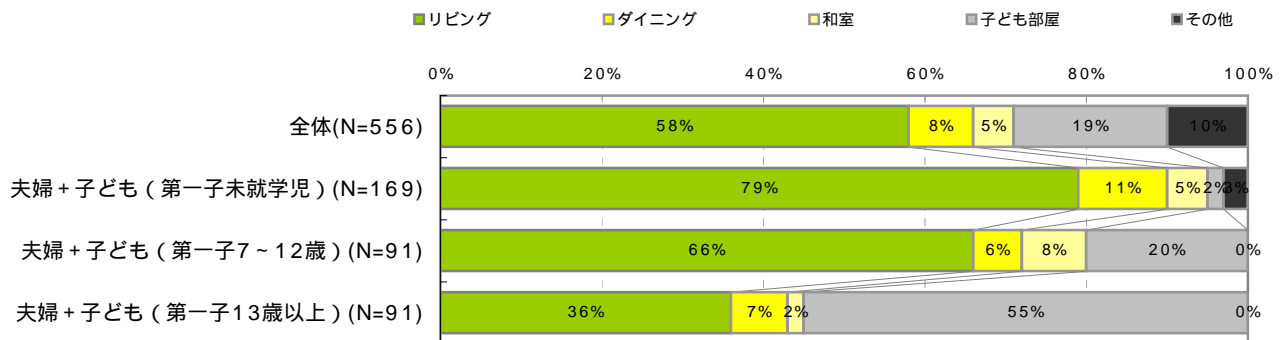
### 【グラフ4】ミセスが読書等を多く行う部屋

設問：奥様ご自身は、家計簿や読書などをどの部屋で行うことが多いですか？



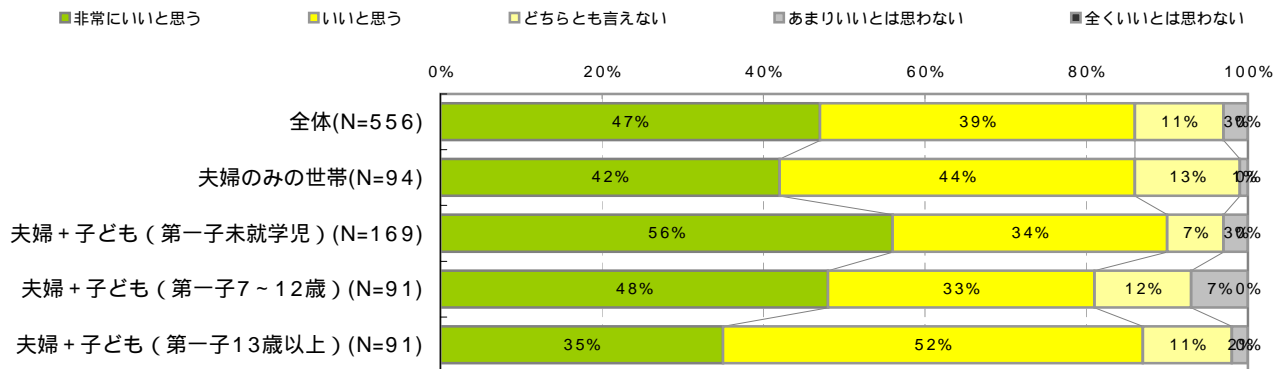
### 【グラフ5】子どもが勉強・遊び等を主にする部屋

設問：現在のお住まいで、お子様が勉強をしたり、お絵描きをしたり、遊んだりする主な部屋はどこですか？



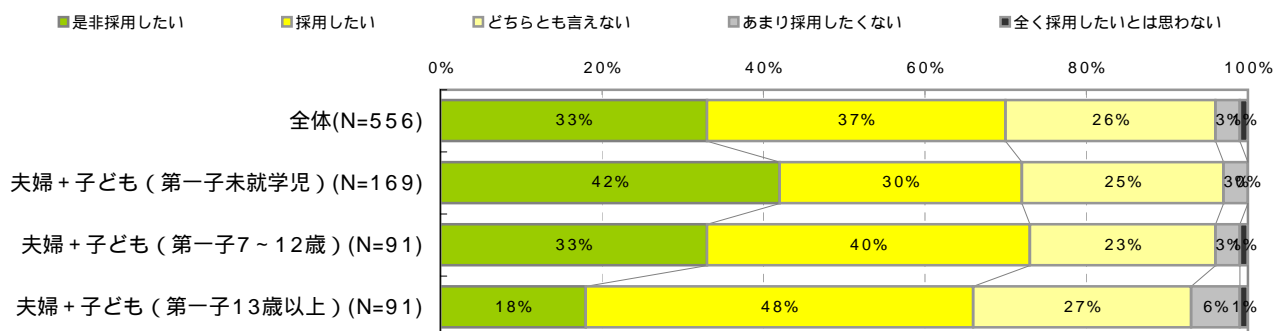
### 【グラフ6】ファミリーコーナーの印象

設問：特集でご紹介したファミリーコーナーをどう思いますか？



### 【グラフ7】ファミリーコーナーの採用意向

設問：今度家を建てるとしたら、ファミリーコーナーを採用したいと思いますか？



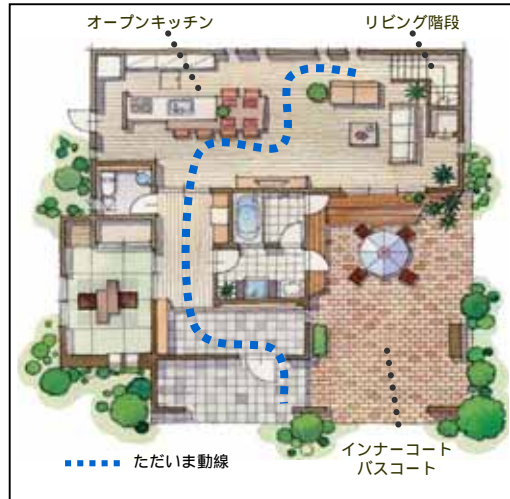
## (参考資料) 親子のコミュニケーションをとる上の工夫の例

【写真1】タイプ の例



空間的なつながりをもたせる吹き抜け

【図1】タイプ の例



帰宅した子どもが必ずリビングを通る動線

【写真2】タイプ の例



家事しながら子どもが見えるオープンキッチン

【写真3】タイプ の例



食事中テレビを見ない習慣を身に付ける食育スクリーン

【写真4】ファミリーコーナー



ファミリーコーナーの設計例

「親子のコミュニケーションと住まい」アンケート結果(ブライighthouse住まいづくり研究所調べ)

公開URL <http://www.brighthome.co.jp/ouchiclub/result/result19.htm>

公開開始: 2007年6月20日(水) 13:30